

2025 年度

東京富士大学大学院 経営学研究科

一般入学試験 I 期

論 文

<注意>

1. この冊子には、問題文(2枚)が綴じてあります。
2. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
3. 問題用紙・解答用紙の表紙にある受験番号、氏名欄を必ず記入してください。
4. 解答は「横書き」「日本語」で記入してください。
5. 原則として、この冊子は交換しませんので、注意して扱って下さい。
6. 試験終了後、この冊子と解答用紙の両方を回収します。

受験番号	氏名

次の問題1から8の中から2問を選択し所定の用紙に解答しなさい。
また、選択した問題番号を○で囲みなさい。

問題1. 次の問いに答えなさい。

- (1) 名著といわれる『経営者の役割』(1938年)を著した人物は誰か、答えなさい。
- (2) 上記の人物が定義した「公式組織の3つの要素」とは何か、答えなさい。
- (3) 同じく上記の人物は、組織の存続には「組織の有効性と能率」を考える必要があると説いた。組織の有効性と能率とはそれぞれどういう意味か簡潔に説明しなさい。

問題2. 企業が環境経営に注力することで得られる経営的なメリットとしてどのようなものがあるか、なるべく具体的に説明しなさい。

問題3. ポーターの競争戦略における3つの基本戦略について、それぞれの特徴を説明しなさい。

問題4. マーケティングプロセスの流れを説明しなさい。

問題5. 法人税法における減価償却費の計算において確定決算を要求する理由を述べなさい。また、所得税法の場合は、どのようになるのかについても述べなさい。

問題6. 法人の益金をどの事業年度に計上すべきかについて、訴訟等での争いが少なくないが、法人税法では、益金の事業年度の帰属をどのように判断しているか、以下の用語を用いて説明しなさい。

用語：法人税法第22条、法人税法第22条の2、権利確定主義、管理支配基準

問題7. キャッシュ・フロー計算書について、以下の問いに答えなさい。

(1) 企業会計基準第32号『「連結キャッシュ・フロー計算書等の作成基準」の一部改正』における、キャッシュ・フロー計算書が対象とする資金の範囲（現金及び現金同等物）を説明しなさい。

(2) 『連結キャッシュ・フロー計算書等の作成基準』に定める「受取利息、支払利息、受取配当金、支払配当金」のキャッシュ・フロー計算書上の表示方法2つを挙げ、それぞれの方法の根拠を説明しなさい。

(3) 国際会計基準（IAS第7号『キャッシュ・フロー計算書』、para. 31-34。以下、IFRSs）における、利息および配当金のキャッシュ・フロー計算書上の表示区分は、下記の表のとおりである。そこで、IFRSsにおいて支払配当金を営業活動によるキャッシュ・フローに表示する根拠について、あなたの考えを述べなさい。

問題8. 監査人が監査を実施する際に保持すべき独立性について、監査基準の規定に言及しながら、その意義と必要性を説明しなさい。